

はじめに

将来の平塚駅周辺地区は…

レジャー

働く

健康づくり

企業連携



企業連携、リモートワーク、
起業したい人がチャレンジ
できる仕事の拠点に

ウォーキングや
体操に活用できる
空間に



参照:オトナリラボ
(京都市内)

託児所付のコワーキング
スペースでリモートワーク



みんなで集まり体操
医療施設で健康診断

来街者がスポーツ観戦の
あとにまちなかで交流

子育て

子育て世代が
集まる拠点に



子どもを遊ばせながら
ママ友と情報交換

飲食

企業がまちなかで
商談、会議、展示会

起業



アクティブシニアなどがチャレンジ
ショップを活用して起業

学生が集まり
多様な活動が
生まれる拠点に

市民活動

学習



市民活動団体のメンバーが
フリースペースで活動
団体間の交流会を開催



学生が放課後にまちなかの
フリースペースで自習



来街者が立ち寄り
たくなる商店街に

歩いて楽しく買い物・
飲食できる商店街に

買い物



休日にゆっくりと買い物
仕事帰りに歩きながら買い物



買い物の合間にランチ
仕事帰りに飲み会

平塚駅周辺地区でのライフスタイルのイメージ

高校生

16:00～

学校から
まちなかへ



- 放課後、塾が始まるまで、Wi-Fiのあるフリースペースで自習・課外活動

会社員

18:00～

会社から
まちなかへ



- 仕事を終えて飲食店で食事

子育て世代

9:00～



- 託児所付のコワーキングスペースでリモートワーク

12:00～



- 子どもを連れてまちなかマルシェでランチ

14:00～



- 来月に開催するポップアップストアのイベント会場の下見と打合せ

17:00～



- 仕事を終えて図書館で絵本を借りて併設されているスーパーで買い物

※ポップアップストア:数日から数週間程度の比較的短い期間限定で開かれる店舗のこと

平塚駅周辺地区でのライフスタイルのイメージ

休日のゆったりライフ(市民、来街者)

9:00~



●マルシェで軽食

10:00~



●チャレンジショップでクラフト体験

12:00~



●平塚にしかないお店でランチ

15:00~



●コーヒーをテイクアウトしてベンチで休憩

市民活動(市民、アクティブシニアなど)

10:00~



●カフェで午後の成果発表の準備

11:30~



●シェアキッチンで仲間と調理・食事

14:00~



●商談、展示会ができる施設のレンタル会議室で成果発表

16:00~



●日用品や生鮮食品を購入して帰宅

※アクティブシニア: 退職後、知識やノウハウを活かして、市民活動や新たな仕事に取り組む高齢者をイメージ

平塚駅周辺地区でのライフスタイルのイメージ

起業する人(若手経営者、アクティブシニアなど)

10:00～



- チャレンジショップを活用してクラフト体験講座開催

12:00～



- 行きつけのカフェで店主とおしゃべりしながらランチ

14:00～



- フリースペースで出店に向けた打合せ

18:00～



- 若手アーティストのライブイベントに参加

みんなのリビングに！

～充実した日々の中にときめきを感じられる それぞれが居心地の良いまちづくり～

もくじ

序章 策定について	1
1.策定の背景と目的	1
2.将来構想の使い方	1
3.策定までのあゆみ	2
4.市民・関係団体などの参加プロセス	3
5.将来構想の位置づけと構成	4
第1章 これからのまちづくり	5
1.平塚駅周辺地区の現状	5
2.まちづくりの視点	14
第2章 まちづくりのコンセプト	15
1.平塚駅周辺地区の役割	15
2.まちづくりのコンセプト	16
第3章 グランドデザイン	17
1.グランドデザインの役割	17
2.グランドデザインの考え方	18
第4章 まちづくりの方針	20
1.地域資源・商店街の特色を活かしたまちの魅力づくり	20
2.交流・にぎわいを創出するウォークアブルネットワーク	21
3.多様な活動を支える機能誘導と配置	22
4.市街地の更新	24
5.グリーンインフラの活用による快適性・防災性の確保	25
6.移動しやすい環境づくり	26
7.スマートシティと平塚発の新技术の活用	27

第5章 通り・エリアの将来イメージ	28
1.通り・エリアの将来イメージの考え方	28
2.通り・エリアの将来イメージ	29
第6章 実現に向けて	46
1.まちづくりの進め方	46
2.フラッグシッププロジェクト	47
3.まちづくりの体制	48
4.実現手法	49
資料編	50
策定体制	50
策定までのあゆみの詳細	51
用語解説	54

●将来構想の中で説明が必要な用語については、本文中に※を記し、巻末の「用語解説」で取り上げていますので、ご参照ください。